

前田建設工業株式会社

所在地 東京都千代田区富士見2-10-2

従業員数 3,310人

事業内容 土木建築業

(令和6年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では「MAEDA企業行動憲章」において「MAEDAで働くすべての人々が安心・安全と健康に配慮した、快適で効率的な職場環境づくりに努めます」と掲げ、これまでも安全で快適な職場の創出に努めてきました。2018年より当社が推進するCSV-SS経営の一環として一部の支店で職員の健康増進への取り組みを実施、2020年から全社的な健康経営に着手しました。

職員の健康は、職員一人ひとりの生活基盤であるばかりではなく、会社にとって大切な財産であり、会社発展の源泉(企業基盤)であると考えています。

なお、健康経営の統括責任者は社長ですが、主体は職員一人ひとりであるとの認識のもと、経営革新本部が中心となり土健保や企業、団体のお力を借りながら、職員が健康で、いきいきとした毎日を送れるよう、さまざまな活動を推進していきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

・ < Me-pon (ミーポン) を利用したウォーキングメニュー >

当社独自のエコポイント制度で、環境に良い活動を行うとポイントが付与される仕組みで、貯まったポイントは通販サイトのポイントやギフト券に交換できます。取組の一つに「ウォーキングメニュー」があり、月間平均男性は10,000歩、女性は8,000歩歩くことで100ポイント付与されます。2019年から開始し、多くの社員が登録・利用しています。

・ < ベジチェックの設置 >

職員に対し健康管理への気付きを促すことが出来ないか試行錯誤していた時に、以前から耳にしていた野菜摂取レベル測定器「ベジチェック」の利用について土健保へ相談をさせて頂き、毎年行う集団健康診断の時期に合わせ1ヶ月間レンタルする事が出来ました。ヘルスアップチャレンジ助成金を活用して、土健保のご協力により、健診の合間にベジチェックの測定を行い、管理栄養士・保健師の方から指導を受ける機会をもつことも出来ました。集団健康診断終了後はオフィスに常設したところ、多くの職員が測定したり結果をもとに談笑したりする姿が頻繁に見られました。また、グラフに自身の野菜摂取測定値に合わせてシール貼りを行ったことで、食生活の見直しや改善への意識づけになりました。なお、測定値全体の傾向から職員の野菜摂取レベルが比較的高いことが分かりました。



野菜摂取測定値をシールにてグラフ化



野菜摂取測定中の役員です

ホームページ

https://www.maeda.co.jp/pickup/health_management.html